

## 5. 工業団地（福島県「ロボットテストフィールド」）整備（継続）

復興工業団地、福島ロボットテストフィールドを核とした新産業創出と人材誘導を推進します。

### 事業概要

- 市内の多くの事業所は、震災と原発事故の影響により休業や廃業、市外への事業所移転、従業員の解雇を余儀なくされるなど、深刻な状況が発生しました。
- その後も風評被害による受注の減少や、取引先企業からの要請によりやむなく市外に移転せざるを得ない企業が出るなど、市民の長期的かつ安定的な雇用の場が大幅に減少しており、新たな雇用の場の確保のために工業団地を造成し、企業誘致を図る必要があります。
- そのため、市内2か所（渋佐・萱浜地区、下太田地区）で工業団地の整備を進めています。
- さらに、福島イノベーション・コースト構想において、県が整備する「福島ロボットテストフィールド」を活用し、「ロボットのまち南相馬」を実現させるため、関連企業の進出をサポートします。
- 国や県が実施している企業立地補助金の他に、新規雇用数に応じて市独自の助成金を交付する制度を整え、新たに立地する企業への支援を行っています。



### 復興工業団地の整備スケジュール

項目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
工業団地（1工区）				→	
工業団地（2工区）					→
福島ロボットテストフィールド整備					→

※ ほ場整備事業や道路整備事業など、周辺で実施される事業と関係し、スケジュールが前後することがあります。

※ 福島ロボットテストフィールドは、平成30年度以降、順次開所を予定しています。

### 下太田地区工業団地の概要

【下太田地区（現工場敷地約10.4ha）】

平成24年度

民間事業者から用地を取得し、測量及び道路等の共有部分の実施設計を実施

平成25年度

道路等の共有部分の造成工事に着手し、工事完了

平成26年度～

用地を企業に売却し、企業が工場等を立地し操業開始

（一部用地は工場等立地の交渉継続中）

平成30年度

南側部分の約2.9haの拡張工事完了・提供開始



## 復興工業団地（福島ロボットテストフィールド）事業概要

- 沿岸部の津波被災地である渋佐・萱浜地区に、約70haの工業団地を整備します。
- 工業団地の用地については、防災集団移転促進事業により市が被災された方から買取りを行う宅地などの換地集約と土地改良事業（ほ場整備）により創出される土地などで確保します。
- 福島県が、ロボット研究の拠点となる「福島ロボットテストフィールド」を復興工業団地（約50ha）に整備します。工場用地として利用できる面積は、道路敷・緩衝帯等を除き、約12haの予定です。
- 「福島ロボットテストフィールド」は、物流やインフラ点検、大規模災害などに対応する陸・海・空のロボットの一大研究拠点であり、市では、この拠点を核とした取組を加速させ、社会や技術の変化に対応できる「人」を育て、市内企業の技術革新、販路拡大につなげるべく取り組みを展開していきます。

## 復興工業団地（福島ロボットテストフィールド）完成イメージ



## 総事業費

総事業費	95.9億円	復興交付金
		福島再生加速化交付金

## 担当部署

【復興工業団地の整備に関すること】

- 南相馬市経済部商工労政課ロボット産業推進室  
Tel 0244-24-5264

【ロボットテストフィールドの整備に関すること】

- 福島県商工労働部ロボット産業推進室  
Tel 024-521-8058